

11月末、今年度神石小のマラソン大会当日は、朝の氷点下から始まり、晴天の下での開催となりました。平日とは言え、大勢のおうちの方や地域の皆様が応援に駆けつけ、最後まですべての児童に声援を送って下さいました。沿道のおうちの方に尋ねると、年々増えているような気がするとも話して下さいました。本当にありがたいことです。

子どもたちには、事前から「順位にとらわれず、これまでの自分に勝つ。自己新記録を目指そう。」と、呼びかけてきました。1位を目指すと、1位の方が自分の前から見えなくなったら意欲を無くしがちです。しかし、これまでの自分に勝とうと思えば、見えなくても最後まで諦めることなく走り切ることができます。自分なり



<大勢の声援の中、スタートする高学年>

の目標タイムや自己記録との戦いは、友だちと走り競うことでより現実的になります。だから、競ってくれる友だちに感謝する気持ちも生まれてきます。そして何より、頑張っている子どもたちを後押しするものは、沿道の声援です。おかげさまで、体調が万全でなかった児童もいましたが、参加した児童全員の最後まで自分の力を出し切った諦めない走りを見ることができました。

間もなく、2学期末が訪れ今年も終わりに近づきます。子どもたちには、これまでの自分と比べて今学期の自分は頑張れたかどうかを問うてみようと思っています。

校長 爲平 祐嗣